

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成21年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	山梨県立なかとみ青少年自然の里	所管課	社会教育課
所在地	南巨摩郡身延町平須306	設置年月日 (改築年月日等)	昭和62年6月
管理方式	指定管理者(身延町、平成18年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立青少年自然の里設置及び管理条例		
設置目的	①自然の中で、集団生活を通じて自律、協同などを体験的に学習する場を提供すること。 ②主催事業の実施を通じ、自然の中でふるさとを愛するたくましい青少年を育成する機会を提供すること。		
主な施設内容 (定員等)	宿泊棟: 宿泊室(28人)×1、宿泊室(24人)×3、リーダー室(2人)×4、 食堂(100人)、談話室(15人) キャンプ場: 炊事場、バンガロー2棟、スペースキャビン5棟、テントサイト13カ所		
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 利用の承認に関する業務 ○ 施設及び設備器具の維持保全に関する業務 ○ 集団生活を体験させる集団宿泊訓練に関する業務 ○ 地域における生活文化の経験学習に関する業務 ○ 野外観察、自然探求その他の自然に親しませる学習活動に関する業務 ○ 野外活動及びレクリエーションに関する業務 ○ その他教育委員会が必要と認める業務 		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	(1) 身延町立陶芸工房(定員60名)、和紙工房(定員50人)、体育館(505m ²) (2) 山梨県立ゆずりはら青少年自然の里: 利用人数8,691人
-------------------	---

3. 利用状況

単位: 人、%

		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度 (目標値)
利用者数	本館宿泊利用	6,289	6,635	6,810	
	キャンプ場宿泊利用	163	673	626	
	日帰り利用	1,248	1,223	1,200	
	利用者数合計	7,700	8,531	8,636	
	目標値	8,300	8,300	8,300	8,700
	目標値設定の考え方	これまで遞減的に推移してきたことから、減少を食い止めることを目標とした(平成16年度と同程度)	これまで遞減的に推移してきたことから、減少を食い止めることを目標とした(平成17年度と同程度)	これまで遞減的に推移してきたことから、減少を食い止めることを目標とした(平成18年度と同程度)	過去2年の実績が増加傾向にあることから、前年度実績を上回る数値を目標とした
	対19年度比	100.0%	110.8%	112.2%	113.0%
稼働率		39.8%	43.8%	51.0%	

4. 収支状況

単位:円、%

		平成20年度	平成21年度 (計画値)	平成21年度 (実績値)	平成22年度 (計画値)
収入	施設利用料				
	指定管理者委託料	20,785,000	20,617,000	20,617,000	20,799,000
	その他	6,000	0	15,000	0
	収入合計(A)	20,791,000	20,617,000	20,632,000	20,799,000
支出	人件費	4,799,983	4,691,000	5,015,970	5,560,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	15,323,513	15,926,000	14,353,225	15,239,000
	(うち外部委託費)(B)	6,855,313	7,990,000	6,843,925	7,011,000
	支出合計(C)	20,123,496	20,617,000	19,369,195	20,799,000
収支差額(A-C)		667,504	0	1,262,805	0
外部委託比率(B÷C)		34.1%	38.8%	35.3%	33.7%
利用者一人当たりの経費		2,436	2,484	2,387	2,391

5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成21年4月～22年3月、実施方法:県立なかとみ青少年自然の里利用団体へのアンケート、回答数:61
-------	---

単位:%

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
①利用日、利用時間				
②利用料金	95.0%	—	5.0%	0.0%
③申し込み方法	93.0%	—	7.0%	0.0%
④設備・備品の状況				
⑤催物・事業内容	96.8%	—	1.6%	1.6%
⑥職員の接客態度				
各項目の平均	94.9%	—	4.5%	0.5%

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラム相談を足を運ばない方法でお願いしたい。 ・施設までアクセス路上に看板を増設して欲しい。 ・野外の食事用テーブルを増設して欲しい。
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・遠隔地からの利用団体については、プログラム相談をFAXと電話にての対応も可能とした。 ・施設への路上に新たに2箇所、誘導看板を設置した。 ・新たに12人用の野外テーブルを2台増設した。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	施設利用者が安全かつ快適に利用できるように常に点検を行い、必要に応じて修繕を行うことが概ねできた。今後も引き続き自主点検や専門業者による保守点検・整備を行っていく。	概ね計画に基づき、適切に執行されていた。
運営業務	日常では体験できない自然体験・生活体験・交流体験・創造体験・郷土食体験等を行えるよう、利用者への指導や支援及び食事の提供を行った。	幅広い客層に向けて施設や主催事業の紹介を行い利用者増につながった。また、主催事業においても参加者からの意見を集め、運営の参考とするなど、運営に関して努力している。
自主事業		
利用状況	7～8月にかけては、休所日を変更して営業をしたため、連泊の利用者数が増加した。 秋から冬にかけての利用を呼びかける営業活動を今後も続けていく。	今後も施設の広報に努め、オンシーズン以外の期間も楽しめるプログラムの開発などにより、利用者増に努力して欲しい。
収支状況	開所以来23年が経過し、各所で漏水・器具の不具合が発生し、修繕費の支出が多くなっている。計画していた飲料水配水池の濾過砂の入れ替えは、身延町での配水池の施設改修がされたため、不要となった。	施設の老朽化に伴う修繕をしつつ、経費節減の努力により概ね計画どおりの支出状況となった。
利用者満足度	施設までのアクセスについては、道路事情が悪く、改修を望む声が強い。送迎や荷物の運搬などで対応をしている。 設備や活動プログラムについては、かなりの満足度を得られている。	利用者アンケートにより、対応可能な意見については、すみやかに対応がなされていた。
運営目標の達成状況	○H21 利用者数目標値 8,300 実績 8,636 ○H21 主催事業参加者数目標値 580 実績 442 ○主催事業参加者数は目標値を下回ったものの、利用者数は目標値を上回る実績であった。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	開所から23年を経て、施設の老朽化はあるものの、現地調査をしたところ、施設内外はよく整備をされていた。今後も、利用者の安全を第一に、施設管理をすること。 また、広報活動を積極的に行い、一層の利用者数の増加に努めること。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	利用者が直接触れる可能性の高い食堂テラスの手摺りの修繕を、利用客が増加する時期の前に行った。 施設利用案内や主催事業パンフレットの配付及びHPの定期的な更新により、問い合わせや利用団体が増加している。 今年度の利用者数は、6月までの間で前年度比35.3%増となっている。	

7. 管理体制(組織図)

